

平成30年度

沖縄県福祉のまちづくり賞 表彰事例集



沖縄県子ども生活福祉部
障害福祉課

沖縄県福祉のまちづくり賞について

沖縄県では、高齢者、障害者をはじめすべての人が安心して生活し、自らの意思で自由に行動し、等しく社会に参加することができる地域社会の実現を目指して「沖縄県福祉のまちづくり条例」を制定し、様々な施策を推進しています。

施策の一つとして、「沖縄県福祉のまちづくり賞」を創設し、条例の趣旨に沿った「福祉のまちづくり」に寄与する取組や活動を行っている個人、企業又は団体で、顕著な功績のあったものを表彰することとしています。

表彰は年1回行っており、平成30年度は1個人3団体を表彰しました。この冊子では、平成28年度から30年度までの表彰事例を紹介します。

※平成19～23年度は「沖縄県福祉のまちづくり推進功労者表彰」という名称で表彰を行っていました。



奨励賞

森山和泉

作者自身が広汎性発達障害の双子の娘たちに社会の仕組みや人との関わり方、自分の考えや感じ方が他者とは少し違っていることを理解してもらいたいと、平成21年から6コマ漫画を書き始めた。

発達障害の特性を理解することの大切さを漫画という媒体でわかりやすく、一般の方にも理解させている。

また、同様な子をもつ親はもちろん、子育てに悩む親に共感と勇気を待たせたことが評価された。



発達障害の特性を理解することの大切さを漫画という媒体でわかりやすく理解させている。

奨励賞

北部自立生活センター希輝々

平成17年から障害の有無に関わらず誰でも参加できるイベント「フィールド・トリップLP」を開催し障害者と健常者が交わるきっかけのひとつとして継続して実施しており、障害者の社会参加に寄与している。

地域と障害者を繋ぐ当団体の取り組みは、地域にとって、障害者への理解を深めるきっかけとなっていることが評価された。



毎年開催されている「フィールド・トリップLP」の参加者たち

奨励賞

チャレンジド・サポート沖縄

一般就労した軽度知的障害のある人が、心身を見つめるワークショップを平成 24 年から継続して取組を行っているボランティア団体であり、発達障害のある人やその親たちの支援の機会をつくり情報交換等に寄与している。また、交流を通して、仕事へのモチベーションや生活への意欲を高め、就労定着や精神疾患予防に寄与していることが評価された。



「心身を見つめるワークショップ」での交流の様子

奨励賞

NPO法人ロービジョンライフ沖縄

視覚障害者に対する視覚補助具展示会を平成 25 年から開催し、また毎週 1 回月曜日にウォーキングをし、平成 26 年から開催している「ひやみかちなはウォーク大会」に毎年参加することを通して、社会参加の促進に繋がる取組を行っている。さまざまな活動で高齢の視覚障害者の社会参加を促すきっかけとなっていることが評価された。



「ひやみかちなはウォーク大会」の様子

視覚補助具展示会

平成 29 年度

県知事賞

青い鳥点訳グループ

昭和 44 年から約 50 年間、沖縄盲学校へ点訳児童図書を送る活動を続けている。生徒の要望に可能な限り応える形で点訳を行っており、寄贈図書は 1700 冊を超えている。

視覚に障害のある児童等が様々な図書に触れることができ、障害者の社会参加に寄与していること、約 50 年の長期に渡って活動を続けていることが評価された。



長期にわたる寄贈の活動



児童からリクエストのあった図書も並ぶ

奨励賞 キッチン・とうばる

高齢者が中心となり、ボランティアでコミュニティ食堂を開催し、地域の交流の場となるよう活動を行っている。

平成28年3月より、月に3回開催し、地域の高齢者を中心に毎回30名から40名の方が参加している。

この活動はボランティアの高齢者の生きがい作りの場となり、近隣に住む高齢者にも声をかけることで、孤食や引きこもりを防止することにも寄与している。



ボランティアでコミュニティ食堂を開催

奨励賞 山城慧音

筋ジストロフィー患者の為に三線演奏装置の開発、改良を行った。

従来の押しボタン型コントローラーを改良し、窓部と呼ばれる部分を指先で覆うことで弦を押さえることができる装置を開発した。また、患者の特性に合わせて装置の傾きなどを調整できるよう工夫している。

障害者等が楽器を演奏できる環境作りを行うことで活動範囲が広がり、社会参加に寄与することと、高校の部活動等の時間を活用するなど開発者の自発性が大いに評価された。



演奏装置



各地で演奏会



個人の特性に合わせて調整

奨励賞 合資会社Dライセンス／タイヤランド沖縄

障害者等の身体の状況に応じ、車両運転を行いやすくするための装置を製作し、装置を取り付けた車両を教習車としてレンタルし、受入可能な教習所の紹介まで行うという一連のサービスを2社で提携して行っている。

障害者等が運転免許を取得しやすくする環境作りは障害者の活動範囲を広げることに大きく貢献している。



製作装置の一つ



装置を設置



車両のレンタル等のサービス

奨励賞

一般社団法人琉球スポーツサポート

知的・発達障害者等を対象とし、スポーツクラブの運営やイベントの開催、選手のサポート、障害者スポーツの啓蒙活動などを行っている。

また、利用者が自己選択、自己決定ができるよう、レクリエーションから技術向上までを目的とした総合的なスポーツの機会を提供している。

スポーツを通して多くの障害者が社会参加できる環境を整える取り組みであることが評価された。



スポーツを通じた交流の場



選手のサポート



奨励賞

宮古島地域精神医療保健福祉研究会

宮古島の精神医療保健福祉の向上を図るとの思いから勉強会などを始め、現在では地域住民、家族、当事者を交えて活動を行っている事が評価された。地元の広報誌にも取り上げられるなど、一定の啓発効果が期待できる。今後、研究結果などを生かしさらなる活動に期待したい。



勉強会の様子



映画上映会

奨励賞

株式会社 そら観光

車いす等歩行困難者限定の貸し切りバスを運行し、車いす利用者等の観光機会（社会参加）の促進に寄与していることが大いに評価された。リフト付きバスを利用された方の約8割が満足している。車いす利用者へのアンケートを行い、ニーズに応えられるよう努めていることから、今後のさらなるサービスの充実に期待したい。



車いすのまま乗れるバス



リフトで乗降



車いす用の座席

奨励賞

T・S・P 管理共同企業体

障害のある方でも海洋レジャーを楽しめるよう機器を導入し、また、サポートするための人員を配置するなど、積極的な取り組みが大いに評価された。他団体の障害者イベントの助言や援助を行っており、そういった活動がたびたび新聞に取り上げられている。これらの取り組みは障害者の社会参加に繋がっており、今後のさらなる活動に期待したい。



チェアポート(ビーチ対応の車イス)を楽しむ様子



砂の上も歩くことができる

奨励賞

AccesSurf Okinawa

多数のボランティアの協力を得ながら、障害のある方にサーフィンや海水浴を体験してもらう活動を実施したことが評価された。これらの取り組みは障害者の社会参加に繋がっており、今後のさらなる活動に期待したい。



海水浴やサーフボードを楽しむ様子

奨励賞

音訳サークル やえせ

視覚障害のある方や高齢者のため、刊物(八重瀬町広報誌など)の音訳活動を20年以上の長期にわたって継続してきたことが高く評価された。地域住民の要望があれば、定期的な刊物以外にも対応している。

地域住民の要望に応え、地元郵便局に配達のコラボレーションを得るなど、地域に密着した活動であることも評価された。今後も継続して活動して頂きたい。



20年以上行っている音訳活動



音訳 CD の受け渡し

沖縄県福祉のまちづくり賞応募要領(抜粋)

1 募集対象

県内において、福祉のまちづくりに寄与する次に掲げる取組みや活動を行っている個人、企業又は団体について募集します。

- (1) 施設のバリアフリー化の整備及びサービス等の運営
施設(社会福祉施設、医療施設、教育文化施設、集会場等、物販店ほか店舗、ホテル等、スポーツ施設、劇場等、展示場等の建築物をいう。)のバリアフリー化の整備及びサービス等の運営。ただし、国又は地方公共団体の事業として整備された施設を除きます。
- (2) バリアフリー化に資する創造的な用具・機器の開発・研究・規格の標準化等
応募できるものは、他者の知的所有権その他の権利を侵害しないものに限り、かつ、国又は地方公共団体の事業として実施したものを除きます。
- (3) 福祉のまちづくりの推進・普及のための活動、事業等
高齢者、障害者等の自立と社会参加に寄与する活動、事業等(ガイドマップの作成、旅行・買物等の外出を介助するボランティア、移送サービスの提供、バリアフリー化の点検、各種情報提供、児童生徒のバリアフリー意識向上活動など)。ただし、その活動、事業等を行っている者又は団体は現在も活動を継続しているものに限り、かつ、その活動が行政機関の特別職非常勤職員の職務としての活動を除きます。
- (4) その他福祉のまちづくりに寄与する取組みや活動

2 表彰の種類

沖縄県福祉のまちづくり賞の種類は、次のとおりです。

- (1) 沖縄県知事賞 活動等が長期にわたり継続されている等、県内外における模範となり、顕著な功績があったと認められるもの
- (2) 奨励賞 活動等への取組みが地域における模範となり、啓発効果が期待できるもの

3 選考、発表及び表彰

- (1) 応募又は推薦があった取組みや活動の中から、福祉のまちづくりに関し先駆的又は県内に広く普及させるにふさわしいと認められるものについて、沖縄県福祉のまちづくり賞候補者選考審査会が選考します。
- (2) その選考の結果は、令和元年12月頃に発表し、受賞者に対して賞状及び記念品を授与します。なお、施設の整備等については、施設の設置者及び管理者を表彰します。

平成30年度選考経過

募集 (平成30年7月9日～平成30年10月5日)

選考審査 書類審査(平成30年11月)
決定(平成30年12月)

令和元年度も募集予定

令和元年度も表彰を行う予定です。

募集期間は、令和元年7月8日から10月4日となっております。

表彰にふさわしい案件がありましたら、ぜひ御応募お願いいたします。

詳細は、沖縄県福祉のまちづくり賞 web サイトにて御確認ください。

表彰式

平成31年1月10日、沖縄県庁3階子ども生活福祉部長室で表彰式が行われました。



沖縄県福祉のまちづくり賞 表彰対象一覧

	表彰の種類	受賞者	内容
平成23年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	沖縄伴走ランナーネットワーク	活動
コザ信用金庫「赤道支店・嘉手納支店」		施設整備	
平成24年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	沖縄県福祉介護タクシー事業協同組合	活動
		牧志・安里地区市街地再開発組合「さいおんスクエア」	施設整備
沖縄県護国神社		施設整備	
平成25年度	県知事賞	イオンタウン株式会社	施設整備
	奨励賞	NPO 法人幸せの魔法つ会 あいとびあ	製品開発
株式会社アイセック・ジャパン		製品開発	
平成26年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	(該当なし)	—
平成27年度	県知事賞	株式会社 琉球銀行	活動
	奨励賞	ティーンズクラブ	活動
		株式会社 沖縄銀行	施設整備
平成28年度	県知事賞	(該当なし)	—
	奨励賞	宮古島地域精神医療保健福祉研究会	活動
		株式会社 そら観光	活動
		T・S・P 管理共同企業体	活動
		AccesSurf Okinawa	活動
音訳サークル やえせ		活動	
平成29年度	県知事賞	青い鳥点訳グループ	活動
	奨励賞	キッチン・とうばる	活動
		山城 慧音	製品開発
		合同会社Dライセンス沖縄 / タイヤランド沖縄	活動、製品開発
		一般社団法人琉球スポーツサポート	活動
平成30年度	県知事賞	該当なし	—
	奨励賞	森山和泉	活動
		北部自立生活センター希輝々	活動
		チャレンジド・サポート沖縄	活動
		非特定営利活動法人 ロービジョンライフ沖縄	活動

※平成 19～23 年度は「沖縄県福祉のまちづくり推進功労者表彰」という名称で表彰していました。



沖縄県子ども生活福祉部障害福祉課

沖縄県福祉のまちづくり賞

検索

